令和７年度

保谷第二小学校　第４学年

西東京ふるさと探究学習

単元名：「総合的な学習の時間　～共に生きる～」

内容：主に福祉や人権、国際理解を軸に、障がい者、高齢者、多様な文化的背景をもつ人々との共生を目指す探究学習です。体験活動や調査、実践を通じて、誰もが安心して暮らせる社会への意識と実践力を養うことをねらいとしています。

４年生は、地域の高齢者施設と連携し、高齢者の方との交流や車いす体験を通して地域社会の一員としての自覚を高めました。そして自分たちに何ができるかを考えてリーフレットにまとめ、調べたことを発信しました。

☆体験活動の様子☆

【６月】

近隣の高齢者施設に行き、ダンスを披露する等の交流を行いました。元気な子どもたちのダンスを見て、入居者の方々もとても喜んでくださいました。

【９月】

避難所設営訓練を行う中で、車椅子介助体験を実施しました。高齢者施設からプロの看護師さんや介護福祉士さんが来てくださり、安全な車椅子介助の方法を学ぶことができました。

【学習を終えて、児童の感想】

・老人ホームの種類や入居理由について調べた。老人ホームの種類はたくさんあって、入居理由も個人の体調や介護の問題、セカンドライフを楽しみたいという前向きなものなど、人によって様々だということが分かった。もっと色々な種類の老人ホームや入居理由について調べてみたいと思った。

・色々な障がいについて調べて、つらいことがたくさんあることが分かった。でも、楽しいこともたくさんあることが分かってよかった。今度困っている人がいたら助けたい。

・障がいがある方が料理をするときに使う、ロボットや道具について調べて色々なことが分かった。みなさんも、目が不自由な人や手が不自由な人が周りにいたら、こういうロボットや包丁があるんだよと教えてあげてください。